

戦争法^{安保法制}廃止の政府を

戦争法（安保法制）を廃止し、立憲主義を回復する。
その課題を実行する政府をつくる。

そのための野党の選挙協力を

——日本共産党のよびかけが大きな反響をよんでいます。

戦争 NO、民主主義 YES という野党と国民の共同で
安倍政権をたおしましょう。

立憲主義の回復が最優先

小林 節 慶応大名誉教授

独裁政治をつぶして、立憲主義を立て直し、平和主義と民主的な議会制度を回復する。これがすべてに優先します。

（インターネット番組「とことん共産党」15年9月28日）

「本気」に情熱を感じた

香山リカ 立教大学教授

志位委員長が講演などで何度も「本気」という言葉を使っていて、パッション（情熱）を感じました。

（「しんぶん赤旗」日曜版 15年11月29日号）

虚心坦懐に力を合わせて

瀬戸内寂聴 作家・僧侶

たいへん結構です。野党がまとまって力を強くしないとダメですね。お互いに虚心坦懐に力を合わせてほしい。

（「しんぶん赤旗」日曜版 15年9月27日号）



12万人が国会を包囲（15年8月30日）
日本共産党のホームページより

日本共産党

「国民連合政府」は引き続き主張 日本共産党は戦争法廃止、集団的自衛権容認の閣議決定撤回のためには、「国民連合政府」が必要だと主張してきました。しかし野党間では賛否さまざまです。政府の問題については横に置いて選挙協力の協議に入り、協議の中で党の主張をしていくことにしています。

国政での選挙協力 5野党が合意

日本共産党



5野党党首会談に臨む（右2人目から左へ）生活小沢、維新の党松野、社民吉田、共産志位、民主野田。19日、国会内（日本共産党のホームページより）

戦争法^{安保法制}廃止、立憲主義回復へ

戦争法の強行から5カ月目の2月19日、共産党、民主党、維新の党、社民党、生活の党の野党5党首は、「安保法制の廃止」や国政選挙で最大限の協力を行うなど4項目で合意しました。「安倍政権の暴走を止めたい」、「野党は共闘を

という多くの国民の声に応えたもの。たたかひの前進のための画期的合意です。

共産党の志位和夫委員長は「誠実かつ真剣に協議に臨み、できるだけ速やかに合意を得るよう全力をあげたい」と表明しています。

党首会談での確認事項	①安保法制の廃止と集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を共通の目標とする。	④国会における対応や国政選挙などあらゆる場面でできる限りの協力を行う。
	②安倍政権の打倒を目指す。	③国政選挙で現与党およびその補完勢力を少数に追い込む。
	③国政選挙で現与党およびその補完勢力を少数に追い込む。	

ほがし新聞

2016年 2-3月号外

発行所/ほがし新聞 〒065-0012 札幌市東区北12条東2丁目 011 (721) 2138 (昭和40年3月10日第三種郵便物認可)
●日本共産党北海道委員会の見解を紹介します。ご意見をお寄せください。
電話011-750-1500 E-mail: jcp.hokkaido@gmail.com